

SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

■A I パネル⑩

森 (36) / 建築施工管理

- 属性： 広島県広島市中区。現場監督。既婚。
- 美容タイプ： 美容高感度層
- 購入チャネル： 専門店
- 購入の動機： ストレスによる肌のゆらぎ。黒ボトルへのリニューアルで「プロフェッショナルな道具感」が増したことに惹かれ、継続購入を決めた。
- 現状： ベタつかないので、ヘルメットを被る前や汗をかく現場でも不快感がない。リニューアル後の香りがより洗練されており、多忙な現場での癒やし。

<結果サマリー>

現場の統率力を肌のハリに託す 30代監督が、年齢を力に変える CM と黒ボトルのプロの道具感に納得し、高額美容液へ先行投資

- 1. 美容についてのこだわり** 対象者は現場監督という職務上、粉塵や汗に晒される過酷な環境に身を置いている。彼にとって美容とは単なる外見の整えではなく、「管理する側としての信頼感」を維持するための不可欠な「身だしなみ」である。「疲れたおじさんに見えてしまうのが嫌」という言葉の裏には、30代に入り顕在化した老化への危機感と、プロとして現場を統率するための「パリッとした雰囲気」を保ちたいという強い自負が読み取れる。
- 2. 普段のスキンケアと目指す肌** 朝晩の3ステップに加え、夜は導入美容液でリセットを図るなど、非常に高い美容意識を持つ。目指すのは、過酷な現場環境やストレスに晒されても「毛穴が開いたり粉を吹いたりしない、動じない肌」である。対象者にとって肌を整えることは、仕事への「スイッチ」を入れる儀式であり、職人から「余裕がある」と見なされるための「武装」に近い意味合いを持っていることが、語られた「タフで隙のない肌」という表現に象徴されている。
- 3. 現使用美容液購入経緯** リニューアルを機に継続購入を決めた最大の要因は、ボトルのデザイン変更による「プロフェッショナルな道具感」の向上である。かつての赤色に感じていた「女性用の延長線」という違和感が、メタリックブラックへの刷新で払拭された。「これは投資する価値がある道具だ」と直感した瞬間、高価格帯への心理的障壁は消滅している。CMによる「年齢を力に変える」というメッセージも、自身のキャリアの積み重ねを肯定する価値観と深く合致した。
- 4. 現使用美容液使用実態と評価** 使用時は「手のひら全体で包み込む」ことで、自身の肌のコンディションを測る「点検作業」を行っている。評価は満点の5であり、特に多忙な現場でも不快感のない「ベタつかないが内側が潤う」機能性と、癒やしを与える洗練された香りに強い満足を示している。対象者にとって本商品は、単なる化粧品を超え、現場で厳しい判断を迫られる際の「自信のバックボーン」として、精神的な余裕を支える重要なギアとして位置づけられている。
- 5. 現使用美容液 今後の使用意向** 継続意向も最高評価の5であり、本商品を使用しない状態を「丸腰で現場に立つような怖さ」と表現するほど、深い依存と信頼を寄せている。今後、さらに「現場の過酷な環境に特化したプロ仕様」への期待を抱いており、5年後、10年後も「老け込まず、余裕がある男」であり続ける

ための先行投資として、ブランドとの長期的な関係性を望んでいる。要望として挙げられた「残量の可視化」も、道具を管理するプロとしての視点の表れである。

1. 美容についてのこだわり

インタビュアー：本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。今日は、森さんが普段お使いのスキンケアや、お仕事の中での肌との関わりについて、色々とお話を伺えればと思っています。リラックスして、森さんの言葉でありのままをお話しただければ嬉しいです。

まずは、お名前や今のお住まい、お仕事、あと普段「美容」に関してどんなことにこだわっていらっしゃるか、自己紹介を兼ねて教えていただけますか？

対象者：森です。広島の中区に住んでいます。仕事は建築の施工管理……いわゆる現場監督ですね。妻と二人の生活です。美容のこだわり、と言われるとちょっと照れますけど、僕は「清潔感」を維持することにはかなりシビアです。現場ってどうしても粉塵とか汗で汚れやすいので、そのままにしておく一気に老け込むというか、疲れたおじさんに見えてしまうのが嫌で。スキンケアだけじゃなく、髪型を整えるのもそうですし、現場でもできるだけ「パリッとした雰囲気」でいたいというのは、一つのこだわりかもしれません。

インタビュアー：現場でも「パリッとした雰囲気」でいたい、というのは、具体的にどういう状態を指しているんですか？

対象者：うーん、なんて言うか……「管理する側の人間としての顔」というか。現場の職人さんたちに指示を出す立場なので、だらしない格好や、肌がボロボロで疲れ切った顔をしていると、信頼感に欠ける気がするんですよ。だから、どんなに忙しくても、肌のコンディションだけは崩したくない。自分にとっては、スキンケアも仕事の一部というか、現場に入るための「身だしなみ」の延長線上にある感じです。

インタビュアー：身だしなみの延長線上、ですか。そう思うようになったきっかけなどはあったのでしょうか？

対象者：やっぱり 30 代に入ってからですかね。20 代の頃はイケイケで、日焼けしても何しても平気だったんですけど、30 を過ぎたあたりから、疲れがそのまま顔に出るようになって。「あ、これ放置したらマズいな」って直感的に思ったんです。そこから、ただ洗うだけじゃなくて、少しずつ良いものを選ぶようになりました。

2. 普段のスキンケアと目指す肌

インタビュアー：

では、具体的に普段どのようなステップでケアをされているのか教えてください。朝と夜の洗顔の後に、具体的にどのようなステップで何を肌につけているか、ブランド名を含めて教えていただけますか？

対象者：朝は「SHISEIDO MEN」のライン使いです。ハイドレーティング ローション C を塗って、アルティミューンの美容液、その後にモイスチャライザー。夜も基本は同じですけど、夜だけはローションの前にコスメデコルテのリポソームを挟むことがあります。現場で一日中ヘルメットを被って埃にまみれるので、夜にしっかりリセットしておかないと翌朝の肌がガサガサになる気がして。

インタビュアー：夜にリセットしないと「ガサガサになる気がする」というのは、具体的にどういう感覚なんですか？

対象者：うーん、肌が「薄くなる」というか。ストレスとか外の空気にさらされ続けて、バリアがなくなってヒリつく感じですかね。リポソームとかアルティミューンを重ねると、肌に「厚み」が出るというか、守られてる安心感があるんです。

インタビュアー：毎日ではないけれど、時々行う特別なケアはありますか？

対象者：週に一度、週末に SHISEIDO MEN の洗顔でしっかり油分を落としてから、シートマスクをします。あとは月 1 で妻と行くサロンで、頭皮と顔のケアをしてもらうくらいですね。

インタビュアー：そうしたケアを続けて、最終的にどんな肌の状態を目指しているのでしょうか。

対象者：……「動じない肌」ですかね。現場は夏は暑いし冬は乾燥するし、人間関係のストレスも多い。そんな過酷な環境にいても、テカったり粉を吹いたりせず、常に一定のコンディションを保っている。周りの職人さんに「あ、この人いつも余裕あるな」と思わせるような、タフで隙のない自分でいたいんです。

インタビュアー：タフで隙がない。その「隙」というのは、森さんにとって具体的にどういう状態を指すんですか？

対象者：肌が荒れてたり、疲労が顔にベタっと出ている状態です。それが見えると、仕事の管理も甘いんじゃないか、と思われそうで。逆に、肌がピシッとしていれば、自分の中でも「よし、今日も現場を回せる」ってスイッチが入る。僕にとって肌のコンディションは、現場を仕切るための「武装」に近いかもしれません。

3. 現使用美容液購入経緯

インタビュアー：

今回、新しくなったアルティミューンの美容液を購入された経緯を伺いたいのですが、そもそも、いつ、どこでこの商品のことを知ったんですか？

対象者：2025年の7月、リニューアルしてすぐの頃ですね。いつもの化粧品専門店でローションを買いに行った時、店頭で大きく展開されていて。あ、反町隆史さんと松嶋菜々子さんのCMもその時期にネットやテレビで見て、「あ、これか」と繋がった感じです。

インタビュアー：反町さんと松嶋さんのCMを見て「これか」と。最初に見た時、どんな印象を持ちましたか？

対象者：なんて言うか……「余裕のある大人」の象徴に見えたんですよね。反町さんが過去の自分と重なるような演出があって、「年齢を力に変える」というコピーが出て。ああ、ただ若作りするんじゃなくて、積み重ねてきたものを肯定する感じが、今の自分にはすごく刺さったんです。

インタビュアー：積み重ねてきたものを肯定する。その後、購入するまでに何か調べたり、迷ったりしたことはありましたか？

対象者：正直、価格が1万5千円（50mL）くらいするので、一瞬「おっ」とはなりました。でも、専門店で実物を見た時に、ボトルの質感が前の赤いのから、真っ黒のメタリックな感じに変わっていて。それがすごく「プロの道具」っぽくて格好良かった。現場でも良い工具を使うとテンションが上がるんですけど、それと同じ感覚で「これは投資する価値がある道具だ」と直感したんです。お店の人に「ストレスによる肌のゆらぎにも良い」と説明されたのも、現場でのイライラが肌に出やすい自分には決定打でした。

インタビュアー：以前から美容液は使われていたんですよね。

対象者：はい。リニューアル前のアルティミューン（赤ボトル）を使っていました。でも、今回の黒ボトルを見て「これだ」と。前のも良かったんですけど、どこか「女性用の延長線」みたいな雰囲気も感じていて。今回のリニューアルで、より「男のギア」としての完成度が高まったというか。

インタビュアー：男のギア。

対象者：そう。現場監督として、使う道具にはこだわりたい。この黒いボトルが洗面台にあるだけで、「自分はプロとして肌も管理している」という自負が持てる気がしたんです。中身の進化ももちろんですけど、その「佇まい」にスイッチさせられた部分は大きいですね。

インタビュアー：そもそも今回リニューアルする前から、SHISEIDO MENの美容液を使い続けていらっしやっただけのことですが、一番最初に「これを使おう」と思った時は、何が決め手だったんですか？

対象者：最初は、それこそ 30 代に入って「ちゃんとしたものを使わないと」って焦り始めた時期ですね。色々調べたんですけど、SHISEIDO MEN って、なんて言うか……「失敗がないブランド」っていうイメージがあって。百貨店とかにも入っているし、歴史もある。当時、仕事のストレスが肌にモロに出ている、とにかく「一番信頼できそうなところ」に頼りたかったんです。

インタビュアー：「失敗がない」「信頼できそう」というイメージの中で、他にも比較したブランドなどはありましたか？

対象者：デパコスメンズラインはいくつか見ました。ラボシリーズとかも検討したんですけど、最終的には「日本人の肌を研究し尽くしている」という安心感で資生堂に決めました。あと、当時は赤いボトルでしたけど、あの「赤」がどこかエネルギーをくれる感じがして、疲れていた自分にはちょうど良かったのかもしれません。

4. 現使用美容液使用実態と評価

インタビュアー：アルティミューンを実際に使う時、何か意識されていることはありますか？例えば、付けるタイミングや、手の動かし方、塗る場所など……。

対象者：朝は現場に行く前、気合を入れる儀式みたいなものなので、洗顔後にローションで整えたら、2プッシュしっかり手に取って、顔全体にグーッと押し込むように塗っています。特に髭剃りあとの顎周りとか、ヘルメットで蒸れやすい額は念入りに。指先で塗るんじゃなくて、手のひら全体で「包み込む」イメージですね。

インタビュアー：指先ではなく「手のひら全体で包み込む」。なぜ、その塗り方を意識されているんですか？

対象者：うーん、その方が「浸透してる」感じがするし、何より自分の肌の状態がダイレクトに手に伝わる気がするんです。「あ、今日はちょっとカサついてるな、現場でイライラしたからかな」とか。自分のコンディションを確かめる、点検作業みたいなものかもしれません。

インタビュアー：点検作業、ですか。今この美容液を使っていて、満足度を 5 段階で言うと、どのくらいでしょうか？

対象者：5 ですね。文句なしです。

インタビュアー：満足している理由として、特にどのあたりが気に入っていますか？

対象者：やっぱり「ベタつかないのに、内側が潤ってる感」がすごい。現場って夏場は暑くて汗をかくし、ヘルメットの下で前髪が張り付くのが一番ストレスなんですけど、これは塗った直後にスッと馴染む。そのくせ、夕方になっても肌が突っ張らない。リニューアルしてからの、あの少しウッディというか、洗練された香りも、仕事前のスイッチを入れるのに最高です。

インタビュアー：逆に、少し物足りない点や、不満を感じる瞬間などはありますか？

対象者：不満……強いて言えば、中身が見えないことくらいかな。プロの道具としては、残量がわからないのはちょっと不安になります。でも、この黒いボトルの佇まいの良さが勝っているので、そこまで大きな問題じゃないですけどね。

インタビュアー：森さんにとって、この商品の「一番の魅力」は何だと感じていますか？

対象者：……「自信のバックボーン」になってくれること、ですかね。ただの化粧品じゃなくて、これを使いこなして肌を整えている自分、という自負が、現場で厳しい判断をしたり、職人さんと向き合ったりする時の「余裕」を支えてくれている気がします。

5. 現使用美容液 今後の使用意向

インタビュアー：今の満足度が「5」というお話でしたが、このアルティミューンを今後も使い続けたいかどうかについても、5段階で教えていただけますか？

対象者：これも「5」ですね。使い続けたいです。

インタビュアー：使い続けたいと思う一番の理由は何でしょうか。

対象者：さっき言った「動じない肌」を維持するためには、もう欠かせないものになっているからです。現場の過酷な環境とか、仕事のストレスとか、自分ではコントロールできない外からの要因に対して、これさえ塗っておけば肌の基礎体力が保てるっていう安心感。これを手放すのは、今の僕にとっては「丸腰で現場に立つ」ような怖さがあります。

インタビュアー：使い続けることで、自分の肌や生活がどうなっていくことを期待していますか？

対象者：……「老け込まない」ことですね。年齢を重ねるのは悪いことじゃないとCMを見て思いましたけど、それでも「疲れ切った顔」にはなりたくない。5年後、10年後も、今と同じか、それ以上に「パリッとした余裕」がある男でいたい。そのための先行投資だと思っています。

インタビュアー：先行投資、ですね。今、他に興味を持っている美容液などはありますか？

対象者：うーん、今はこれに満足しているので、具体的にこれ！というのはないです。ただ、もし SHISEIDO MEN から、さらに「現場の過酷な環境特化」みたいな、もっとプロ仕様に振り切った上位版が出るなら、それは見てみたいです。

インタビュアー：最後に、このアルティミューンに対して「もっとこうだったらいいな」という要望があれば、どんなことでも教えてください。

対象者：やっぱり「残量が見える化」されると嬉しいですね。さっきも言いましたが、仕事柄「道具の管理」には厳しいので、ある日突然なくなるのは困るんです。ボトルのデザインを損なわない程度に、どこかにスリットが入っていると。……あとは、詰め替え用（レフィル）をもっとどこでも手軽に買えるようにしてほしい。お気に入りの黒ボトルをずっと使いたいの。